



IIXIL

リフォームシャッター(リフォーム枠)

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロット No. 表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

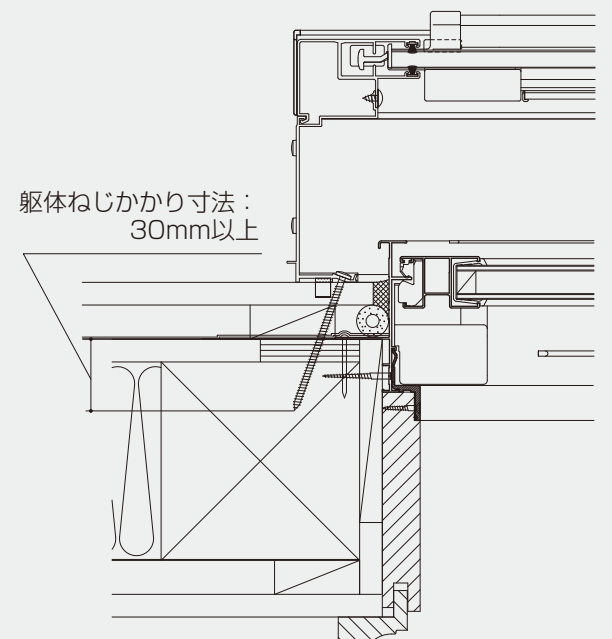
⚠ 警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告

●シャッター本体の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。

- ・本製品は木造・RC 造用です。躯体が木造・RC 造であることを確認してください。
RC 造に取付ける場合、別途、RC 造用ねじセット(別売品)を手配してください。
- ・取付け前に必ず、柱・間柱・窓台の位置・寸法、外壁材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
図面のない場合は打診・壁裏探知器・下地探し針・壁をはがすなどの方法により柱の有無を確認して取付けてください。
- ・ねじは必ず、躯体に $2.4\text{N}\cdot\text{m}$ { $24\text{kgf}\cdot\text{cm}$ } 以上のトルクで締め付けてください。
- ・躯体へのねじ込み深さは30mm 以上確保してください。
- ・製品の強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。

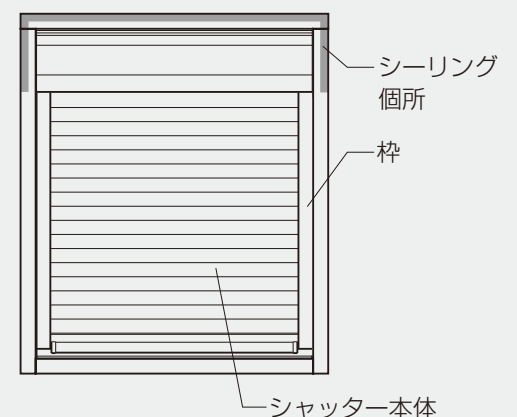


⚠ 注意

●漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・本製品を取付ける前に必ずサッシの周囲にシーリングされていることを確認の上、取付けてください。
- ・躯体へのねじ固定は必ず $\phi 3.5$ のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。
- ・本製品を取付ける際は必ず指定の個所へシーリングをしてください。
- ・外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板のまわりにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。
- ・入隅、ベランダなどに取付ける場合、排水経路がふさがれるため、ボックス(点検口)、ガイドレール、水切りの水抜き穴を埋込まないでください。
- ・枠まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がのりやすくなるように下地処理を必ず行ってください。
- ・型材に貼付いているボンドブレーカーは、はがさないでください。
- ・部材現場付けの場合、外枠と天板・化粧まぐさ・水切りをねじ止めするねじは、 $2.5\pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ { $25\pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ・コーススレッドねじで躯体に固定するまで、枠から手を離さないでください。枠が脱落するおそれがあります。

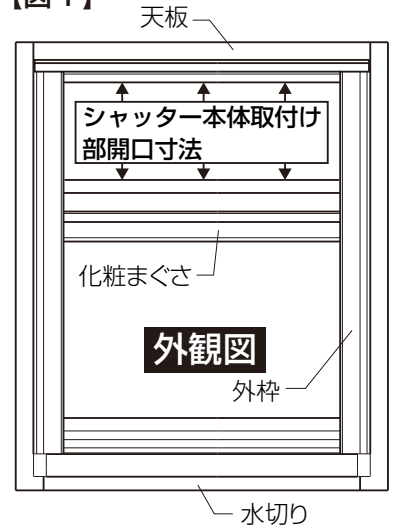
〈シーリング必要位置〉



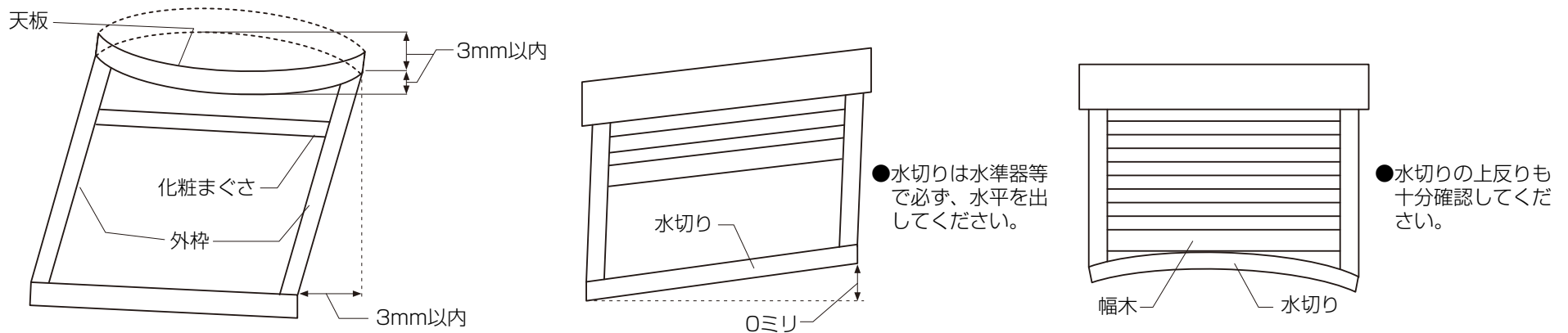
■取付け上のお願い

- 本製品のうち、サッシ枠の組立ておよび取付けは、一般サッシを施工される方が行ってください。サッシの組立て・取付けは、シャッター（電動）の取付け範囲には含まれません。
- 枠取付けの際、150mm 程度のビット・ドリルを用意してください。
- 天板・化粧まぐさは水平に取付け、シャッター本体取付け部の開口の寸法がどこを測定しても等しくなるようにしてください。【図 1】
シャッター本体が取付けられなくなり、製品の取付けや外装工事などをやり直すおそれがあります。
- 枠の水平・垂直を水準器等で正確に出してください。特に水切りの上下の反りがないようにしてください。
シャッター作動不良の原因になり、製品の取付けや外装工事などがやり直すおそれがあります。【図 2】
- シャッター部分の組立て・取付けについては、シャッター本体同梱の取付け説明書をご覧ください。
- 水切り先端部にのったり重量物をのせたりしないでください。無理な重さをかけると破損の原因になります。
- 水切りが変形しないよう、躯体取付けねじは必ず固定してください。

【図 1】



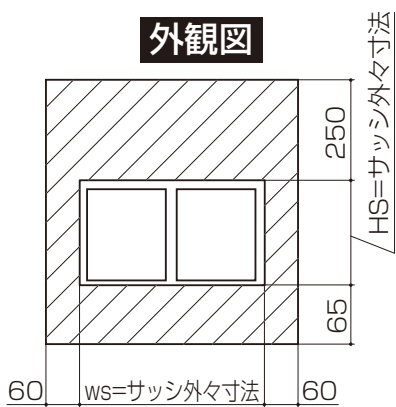
【図 2】



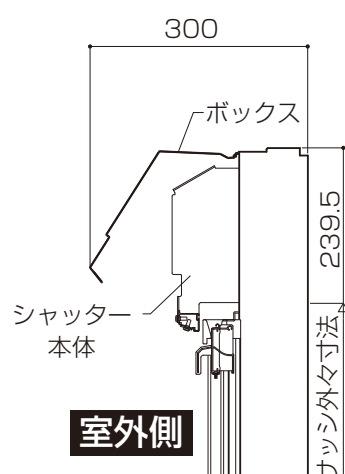
■躯体・外壁材・開口部の確認

- シャッターを取付ける前に下記の内容を確認してください。
- 1. リフォームシャッターを取付けるスペースがありますか。本製品を取付けるためには下図（シャッター取付け範囲）斜線部のスペースが必要です。
※開き窓タイプ・RC 造の場合、取付け範囲が大きくなりますのでご注意ください。
- 2. 外壁厚みは45mm未満になっていますか。45mm以上ある場合は取付けねじを躯体に十分効かせることができないため、取付けできません。
- 3. 外壁の種類は窯業サイディング・モルタル壁・RC ですか。その他の外壁には取付けできません。
（金属サイディングの場合はオプションの下地部材をあらかじめ取付けることで、対応可能となります。）
- 4. リフォームシャッター取付け面からのサッシ出寸法（網戸含む）は 32mm 以下ですか。32mm 以上ある場合はオプションの下地部材を取付け願います。下地部材を取付けることでサッシ出寸法（網戸含む）99mm まで対応できます。99mm を超える場合は取付けできません。
※片入隅用、ボックス下げ用、ボックス下げ片入隅用下地部材使用時はサッシ出寸法（網戸含む）32mm までの対応となります。
- 5. リフォームシャッター固定ねじの位置に躯体はありますか。躯体がない場合は取付けできません。
外壁部分だけで固定することは絶対行わないでください。
- 6. リフォームシャッター出幅方向で何かに当たりませんか。シャッターボックスの出寸法はボックス別に下図に示します。シャッター本体の施工およびメンテナンスのため、下図のスペースを確保してください。
- 7. リフォームシャッター取付け面は同一面になっていますか。同一面になっていない場合は取付けできません。
- 8. リフォームシャッター取付け面に突起物はありませんか。突起物がある場合は取付けできません。
- 9. リフォームシャッターの取付け面に著しい不陸はありませんか。著しい不陸がある場合は取付けできません。

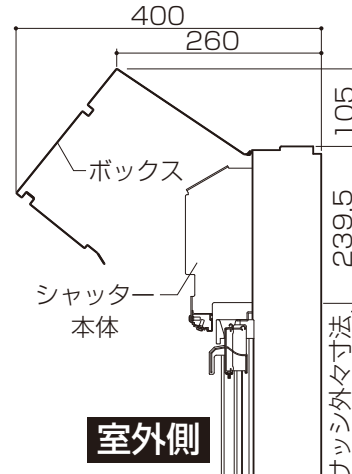
■シャッター取付け範囲



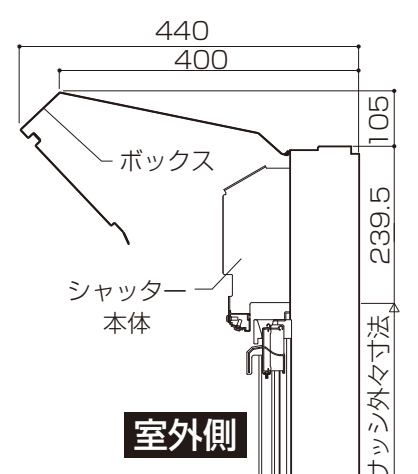
■S型ボックス



■D型ボックス



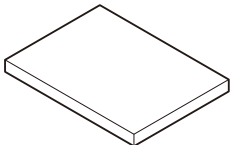
■H型ボックス



■取付け完了時の確認

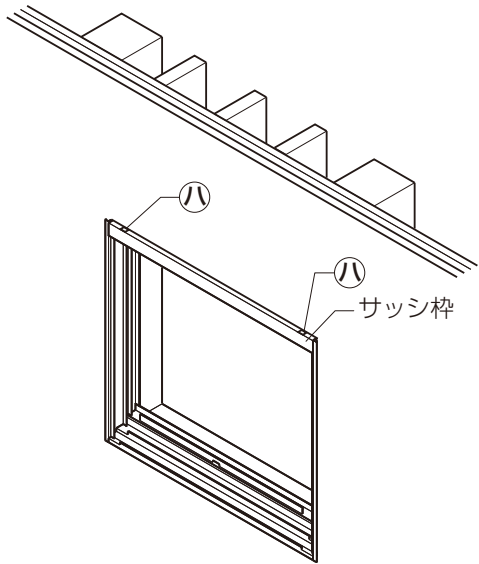
- 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

■使用部品・ねじ一覧表

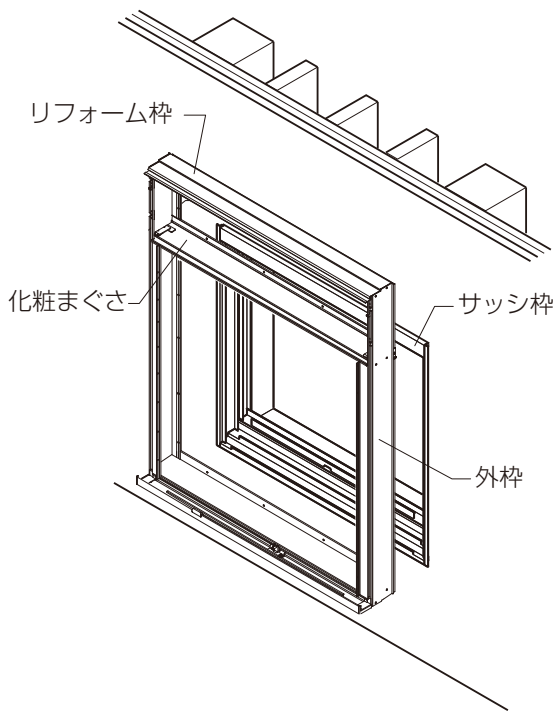
①	㊦	㊨
		
バインドコーススレッドねじ φ4.2×75	バインドタッピンねじ φ4×30	セッティングブロック

■取付け順序(四方先組みの場合)

1 セッティングブロックの取付け



2 リフォーム枠の仮止め



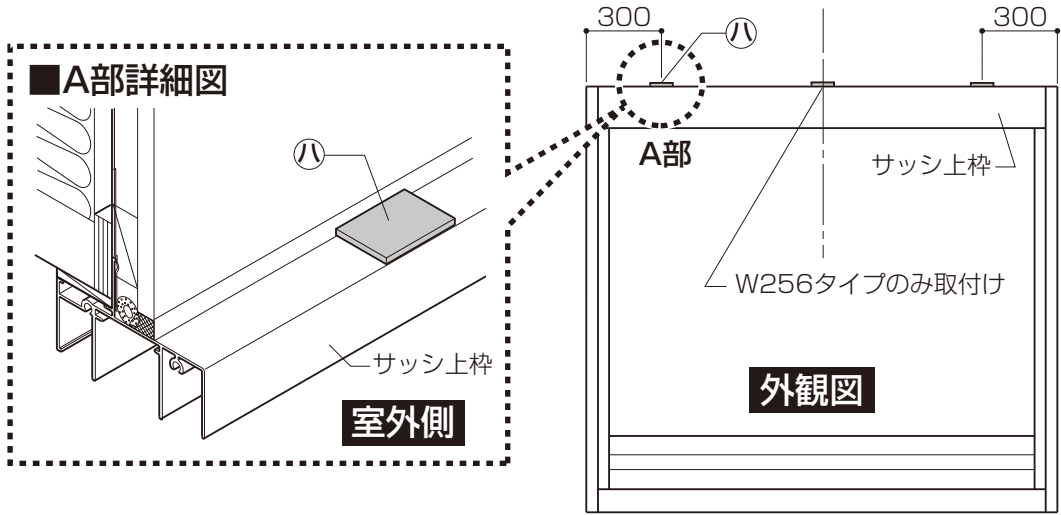
■取付け詳細(四方先組みの場合)

※入隅の場合は四方先組みして取付けを行ってください。

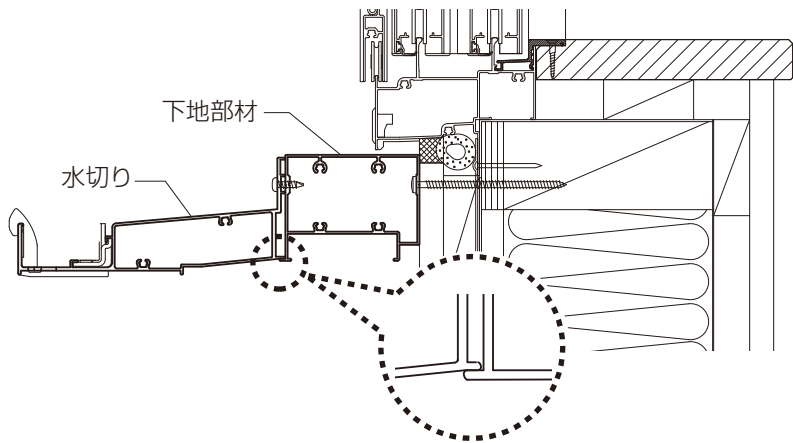
1 セッティングブロックの取付け

①㊨セッティングブロックをサッシ上枠の上に下図の位置に合わせてのせます。

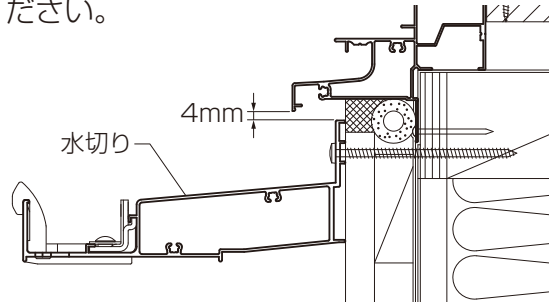
※下地部材を使用する場合は、水切りの下端を下地部材下端の位置決めリブに合わせます。(下図参照)



■下地部材を使用する場合



※開き窓タイプに取付ける場合は、セッティングブロックが使えないためサッシ下枠の下端より 4mm 下の位置に水切り上部のフィンがくるように位置決めし、サッシ枠からの左右のチリ寸法を均等にしてください。



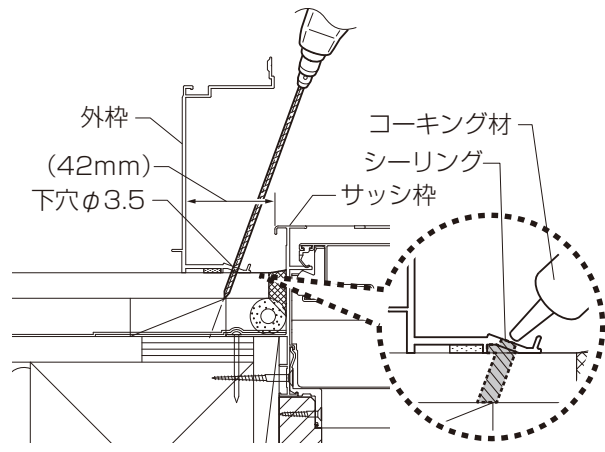
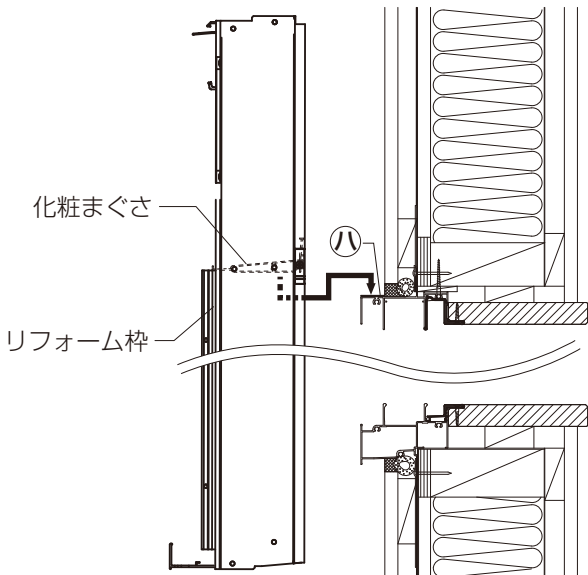
2 リフォーム枠の仮止め

①組立てたリフォーム枠の化粧まぐさを㊨セッティングブロックにのせます。

②サッシ枠からの左右のチリ寸法を均等にします。

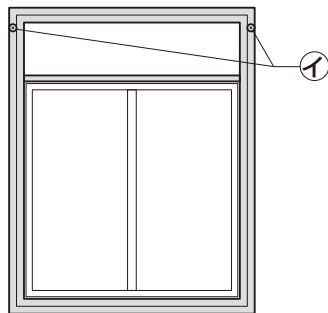
③外枠の垂直を水準器で確認して一番上の穴(左右)の位置に下穴をけがきます。

④けがきに合わせて壁面にφ 3.5 の下穴をあけて、コーキング材を充てんします。



⑤下穴に①バインドコーススレッドねじを締めます。

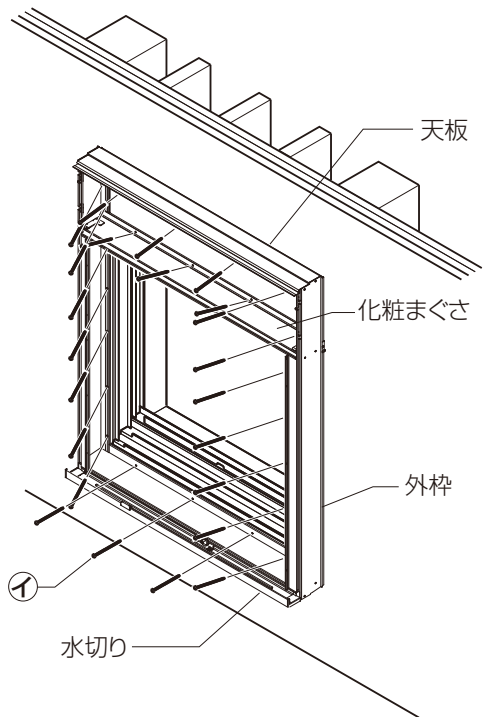
※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。(ただしその際、下地加工は必要ありません。コーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。)



▲ 注 意

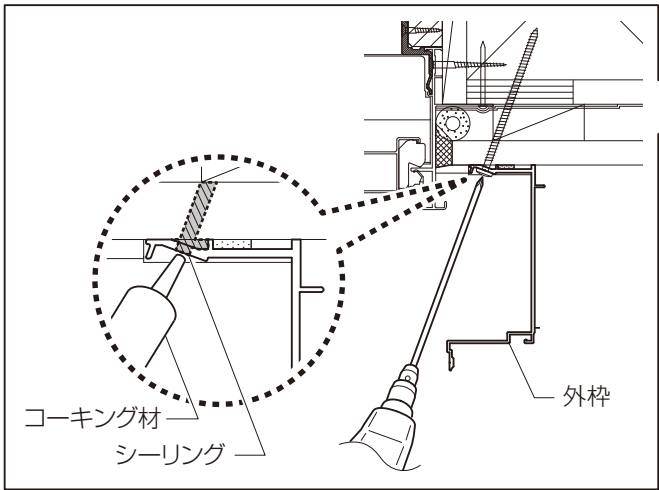
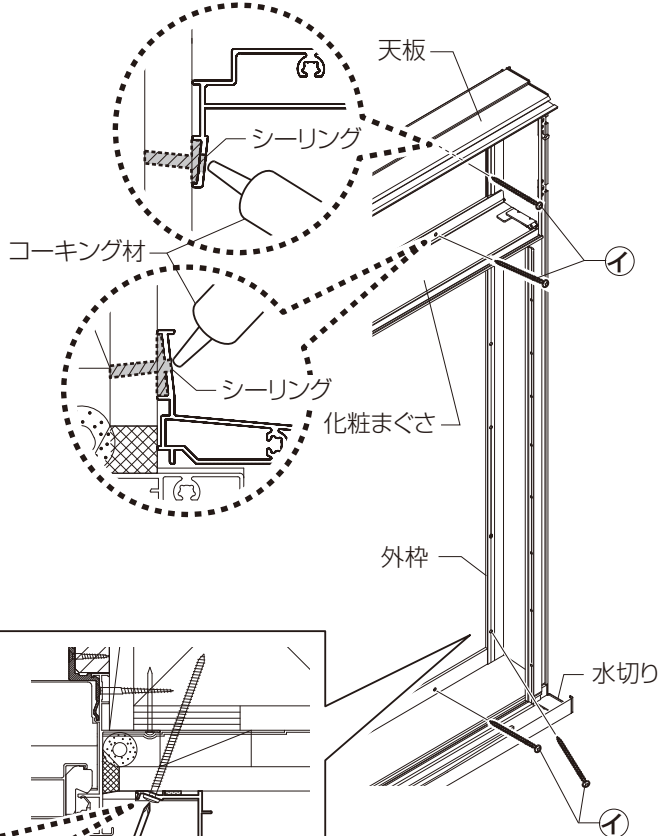
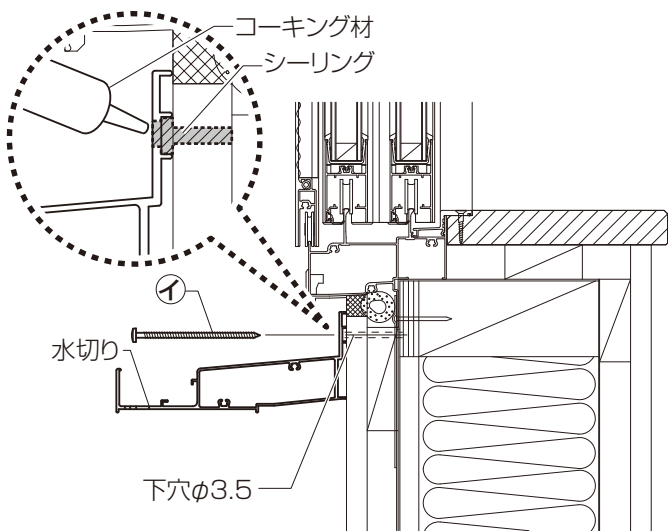
●コーススレッドねじで躯体に固定するまで、枠から手を離さないでください。枠が脱落するおそれがあります。

3 リフォーム枠の固定



3 リフォーム枠の固定

- ①水切りを水準器で水平を確かめながら、水切りにあいている穴に合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
- ②水切り上部の穴に合わせて①バインドコーススレッドねじで固定します。
- ③固定していない外枠・化粧まぐさ・天板にあいている穴に合わせて壁面にφ 3.5 の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
- ④穴に合わせて①バインドコーススレッドねじで固定します。はみ出したコーキング材はきれいにふき取ってください。
- ※柱、間柱などの位置に合わない場合・既設サッシの固定ねじとぶつかる場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。コーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。
- ※取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

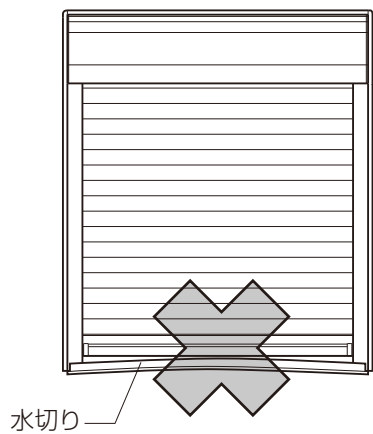


⚠ 警 告

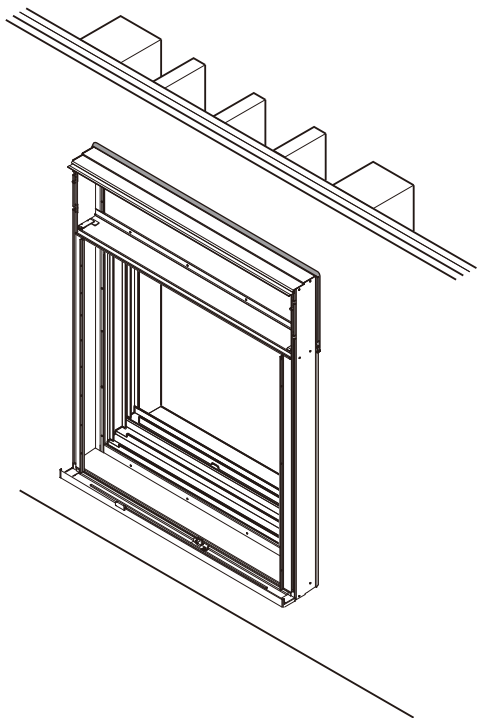
- 取付けねじは必ず躯体に固定してください。シャッター本体の外れ・落下の原因となります。

⚠ 注 意

- 躯体へのねじ固定は必ずφ 3.5 のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。漏水の原因になるおそれがあります。



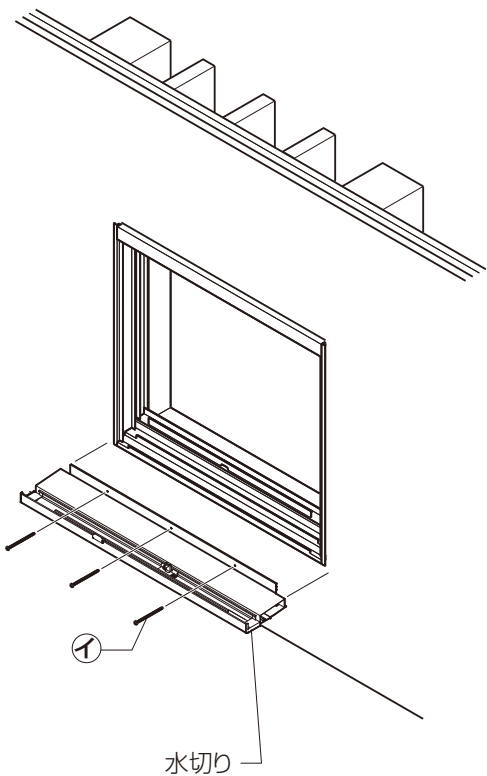
4 枠まわりのシーリング処理



5 取付完了時の確認

■取付け順序 (部材現場付けの場合)

1 水切りの取付け

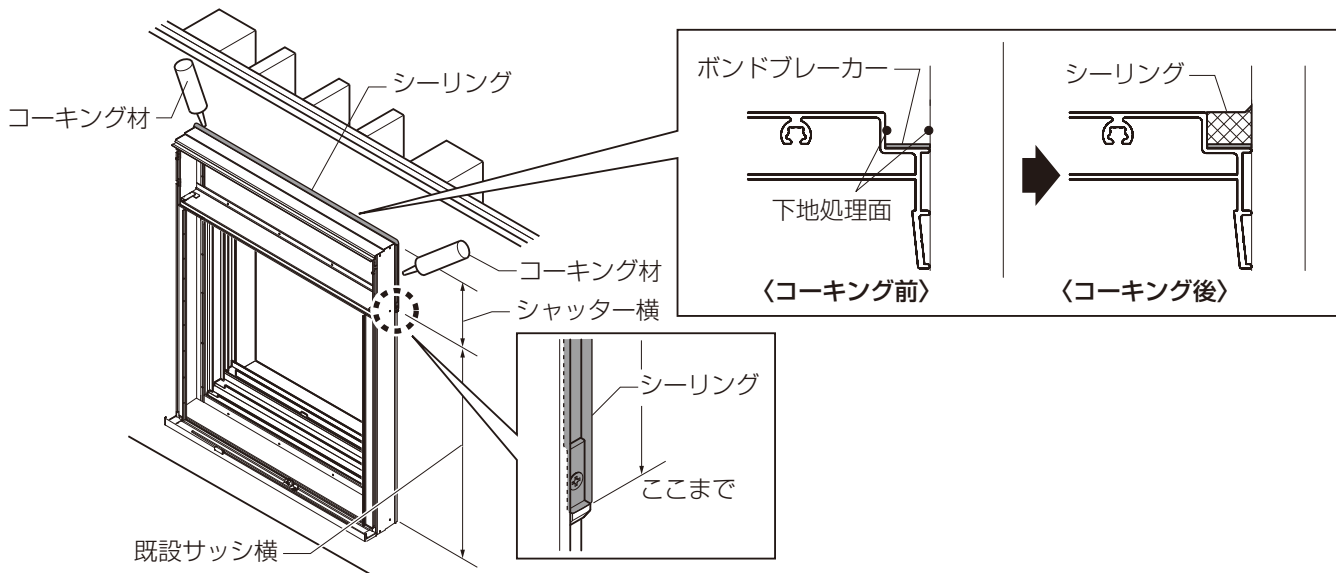


4 枠まわりのシーリング処理

- 枠まわり (3 方) へシーリング処理を行ってください。
外枠と外壁はシャッター横までを必ず行い、既設サッシ横は外壁の凸凹が大きくすき間が気になる場合のみ、シーリング処理を行ってください。

▲ 注 意

- 枠まわりへのシーリングを行う前にコーキング材がのりやすくなるように下地処理を必ず行ってください。漏水の原因になるおそれがあります。
- 型材に貼付いているボンドブレーカーは、はがさないでください。漏水の原因になるおそれがあります。



5 取付完了時の確認

- ※ 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、同梱の施工完了確認チェックリストで点検してください。
- ※ 本製品は壁付を基本としますので背板の取付けの必要はありません。本体取付けの際、背板は取付けなくてもよいことを、本体取付けを実施する方に必ず伝えてください。

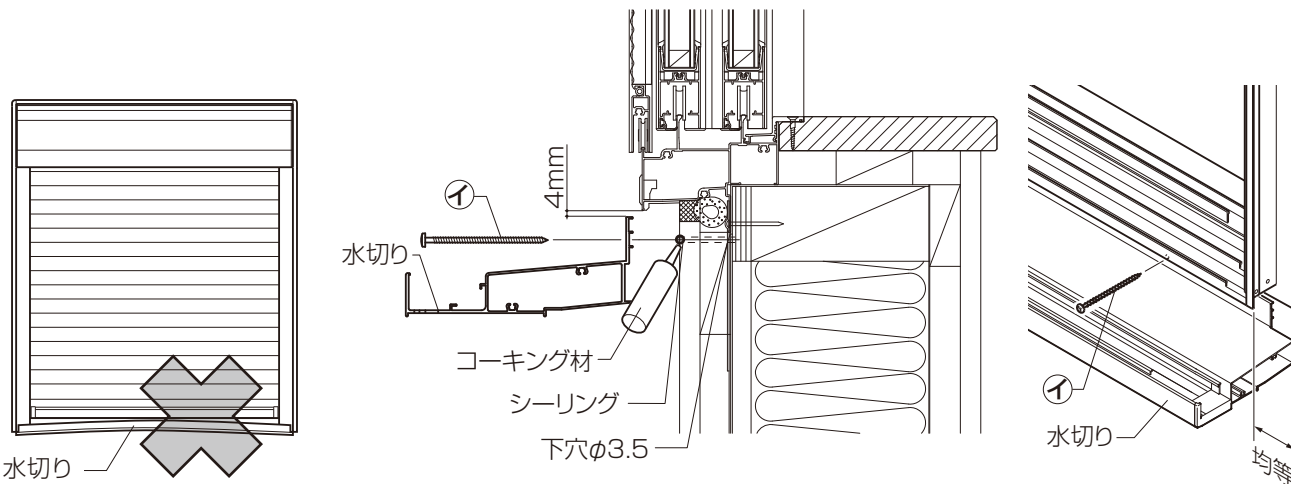
■取付け順序 (部材現場付けの場合)

1 水切りの取付け

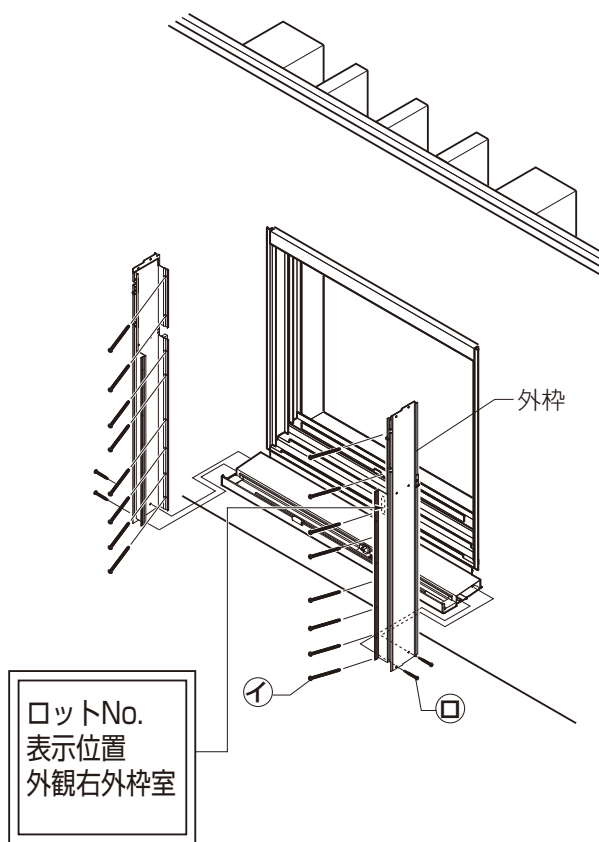
- ① サッシの下枠の下端より4mm 下の位置に水切りの上部のフィンがくるように位置決めし、サッシ枠からの左右の出寸法を均等にします。
※ 下地部材を使用する場合は、水切りの下端を下地部材下端の位置決めリブに合わせます。(3/8 ページ ■セッティングブロックの取付け参照)
- ② 水準器で水平を確かめながら、下枠にあいている穴に合わせて下穴をけがきます。
- ③ けがきに合わせて、壁面にφ3.5の下穴をあけ、コーキング材を充てんします。
- ④ 水切り上部の穴に合わせて①バインドコーススレッドねじで仮止めします。
※ 水切りを固定すると外枠が取付けられなくなります。水切りと壁との間にすき間がある状態にしてください。
※ 柱、間柱などの位置に合わない場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
※ 下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。(ただしその際、下穴加工は必要ありません。) バインドコーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。

▲ 注 意

- 躯体へのねじ固定は必ずφ 3.5 のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

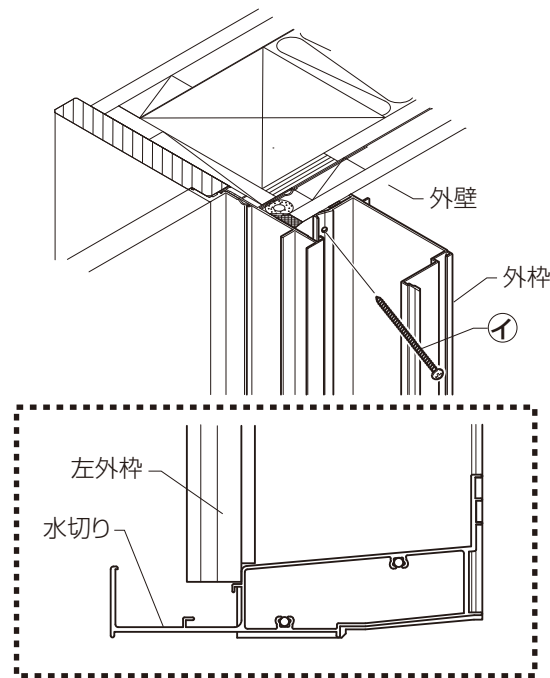
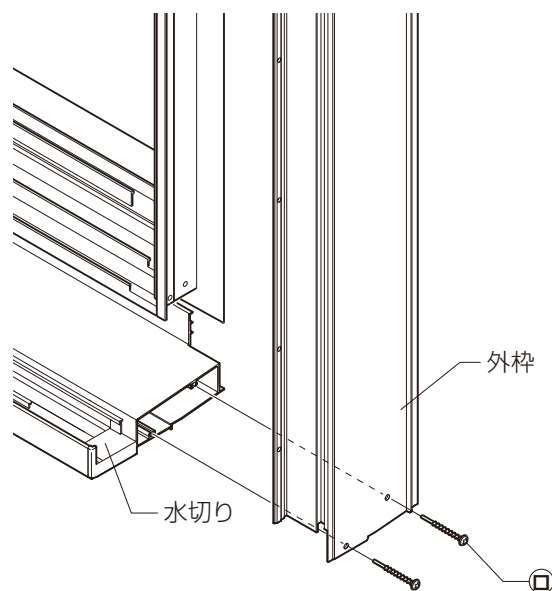


2 外枠の取付け



2 外枠の取付け

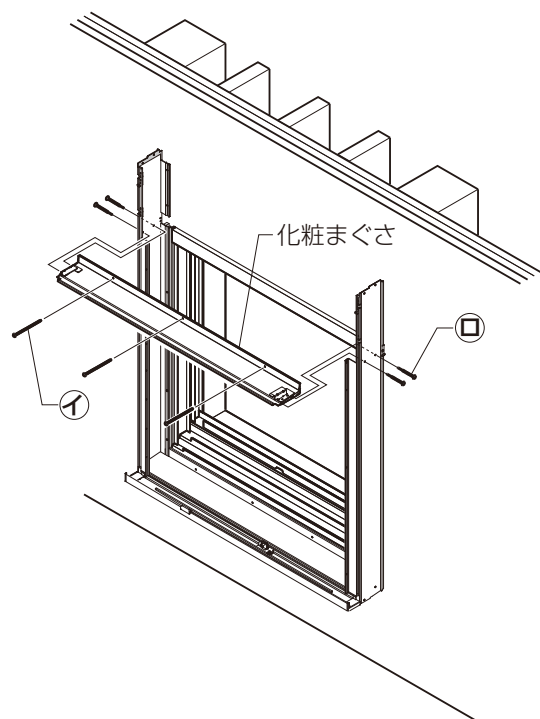
- ①左右の外枠を㊦ バインドタッピンねじで水切りにねじ止めします。
 - ②枠の垂直を出し、壁面と直角になるようにどちらか一方の枠を㊧ バインドコーススレッドねじで固定します。もう一方は仮止めしておきます。(ねじ固定は必ず下穴をけがいて、φ3.5 で下穴をあけ、コーキング材を充てんしてから行ってください。) 枠の固定は下げ振りなどで垂直を確認し、壁面と直角になるようかい物などで調整してください。
 - ③仮止めしていた水切りを固定してください。水切り上部のねじ部よりはみ出したコーキング材はきれいにふき取ってください。
- ※金属サイディングなど、ねじの締込みにより直角が確保できない場合は、別売りの下地部材を使用してください。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。バインドコーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。



▲ 注 意

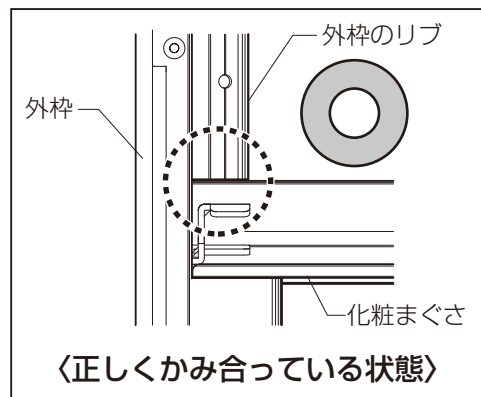
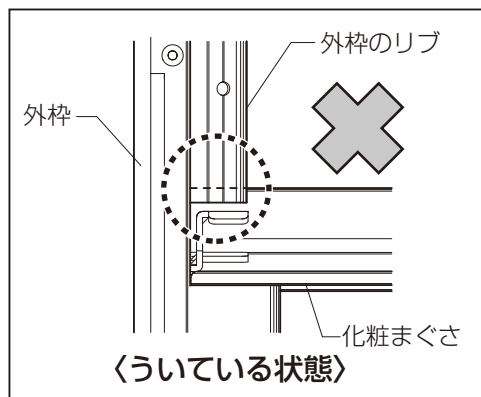
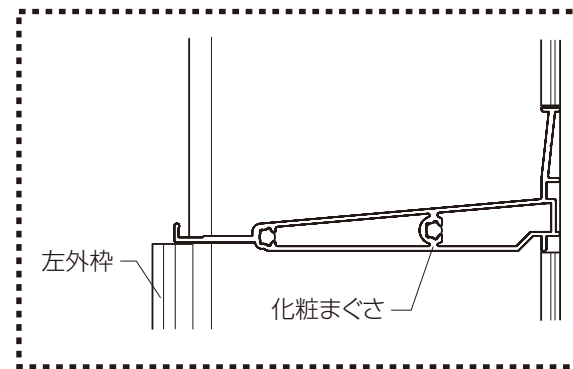
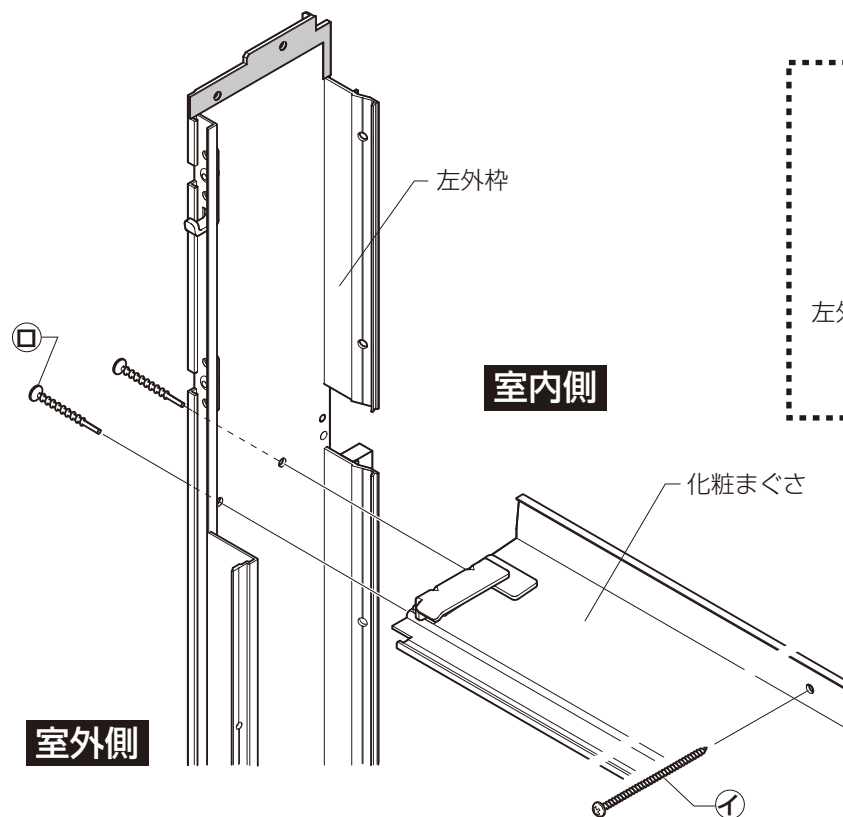
●ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。漏水の原因になるおそれがあります。

3 化粧まぐさの取付け

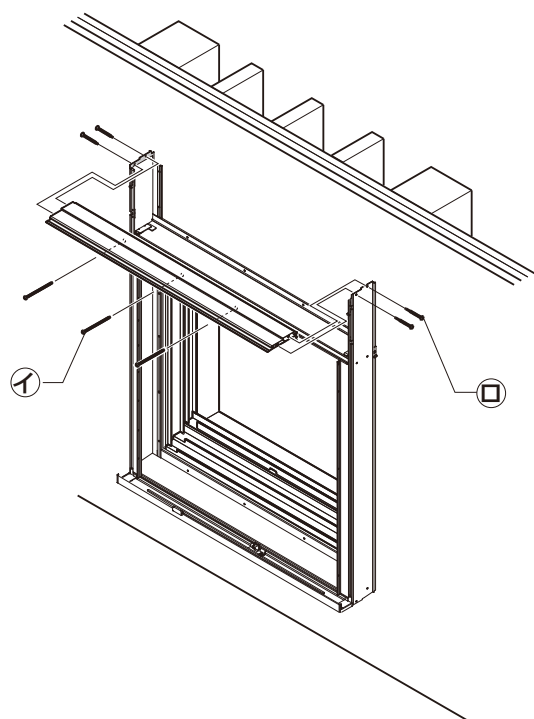


3 化粧まぐさの取付け

- 左右の外枠と化粧まぐさをねじ止めします。
- ※躯体側がうかないよう、外枠のフィンと化粧まぐさをかみ合わせてください。

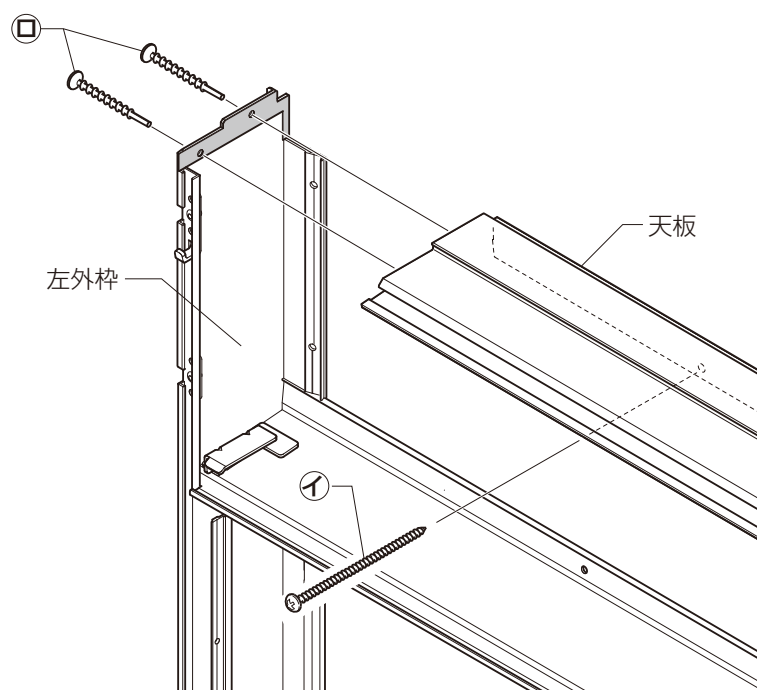
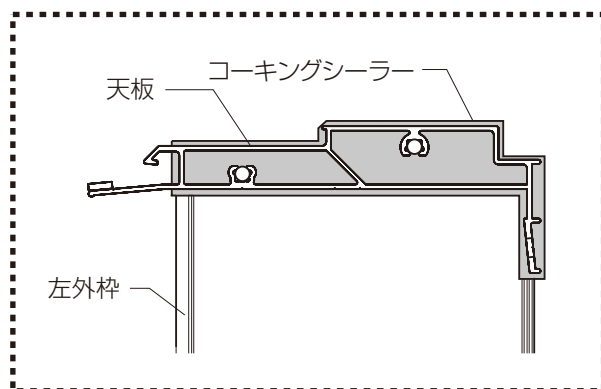


4 天板の取付け



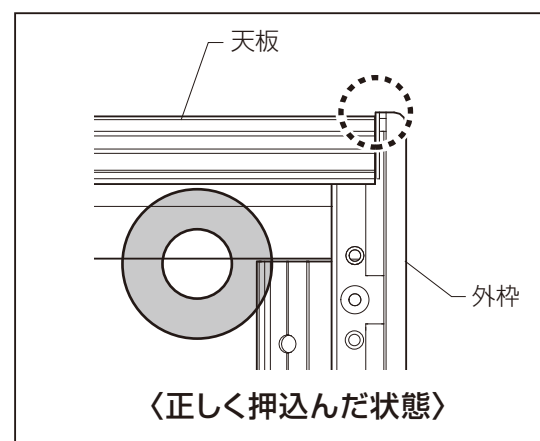
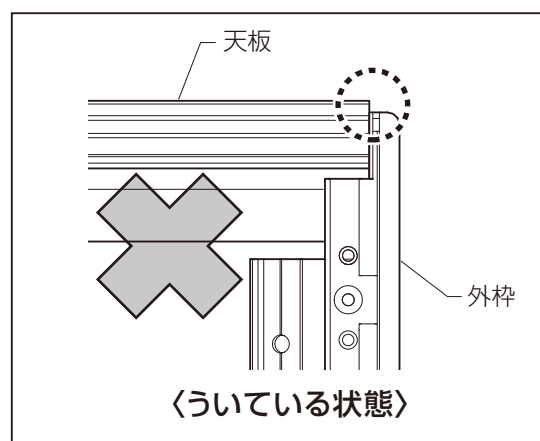
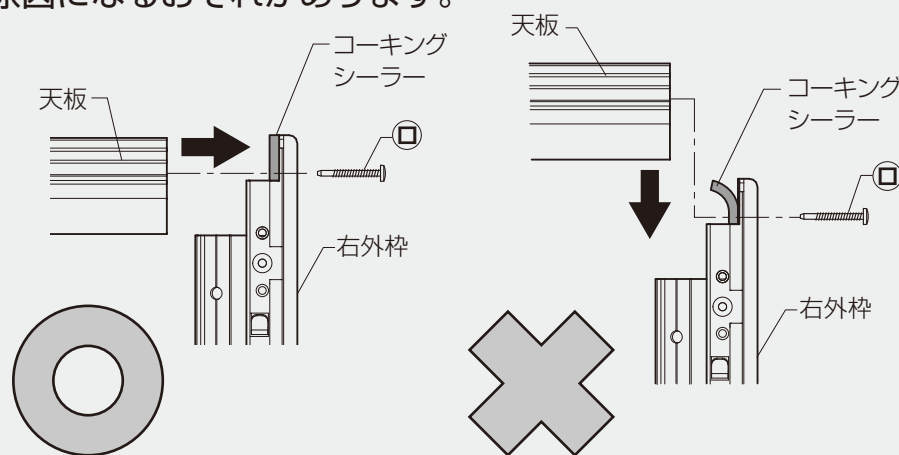
4 天板の取付け

- 左右の外枠と天板をねじ止めします。
※ 躯体側がうかないよう、外枠と天板の
フィンの高さを合わせてください。



⚠ 注意

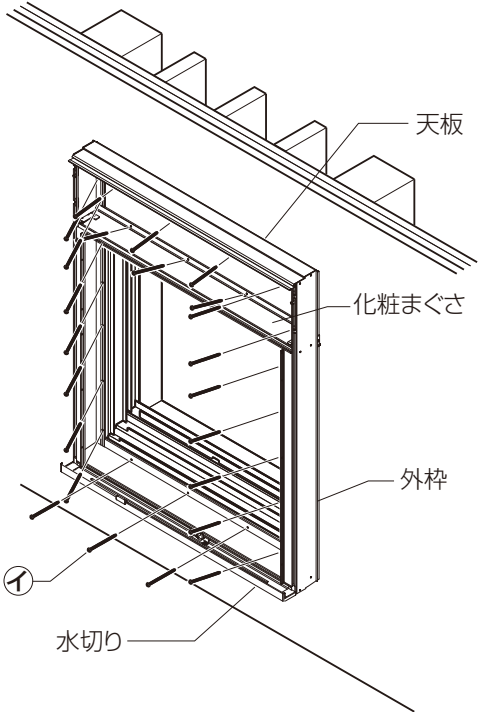
- 天板に外枠を横方向から重ね合わせてください。外枠に天板を上から差込むとコーキングシーラーがめくれてしまい漏水の原因になるおそれがあります。



⚠ 注意

- 外枠に張付けてあるコーキングシーラーが天板のまわりにはみ出すように合わせてから、すき間なくつぶれるようにねじ止めしてください。漏水の原因になるおそれがあります。

5 外枠・化粧まぐさ・天板の取付け



5 外枠・化粧まぐさ・天板の取付け

- 固定していない外枠・化粧まぐさ・天板を①バインドコーススレッドねじで固定します。ねじの固定は必ず下穴をけがき、φ3.5 で下穴をあけコーキング材を充てんしてから行ってください。
- ※柱、間柱などの位置に合わない場合・既設サッシの固定ねじとぶつかる場合は下穴をあけ直して、取付けてください。
- ※下地部材を使用する場合は、下地部材梱包に同梱のナベドリルねじで固定してください。バインドコーススレッドねじは下地部材の固定に使用します。
- 取付け後、ねじのゆるみやガタツキ、その他使用上危険な個所がないか、点検してください。

⚠ 警 告

- 取付けねじは必ず躯体に固定してください。シャッター本体の外れ・落下の原因となります。

⚠ 注 意

- 躯体へのねじ固定は必ずφ 3.5 のドリルで外壁端部から 10mm 以上の位置になることを確認し、下穴をあけてから行ってください。また、ねじ固定は下穴にコーキング材を充てんしたあと行ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

※枠まわりのシーリング処理は、四方先組みの4 枠まわりのシーリング処理と同じ要領で行ってください。